平成26年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・セジロウンカ、トビイロウンカ（No.1）

平成26年7月23日
鳥取県病害虫防除所

1 セジロウンカ

(1) 発生状況

ア 予察灯への初飛来は7月3日（平年：6月13日）で、平年と比較して遅かった。

イ 7月3～8日および7月13～15日に飛来が確認され、予察灯の誘殺状況から、主な飛来は7月13～15日と推察される。7月第3半旬現在、予察灯への総誘殺数は岩美町では平年と比較してやや多く、他の地点（鳥取市、琴浦町、日吉津村）では平年並である。

ウ 現地ほ場での発生の主体は、成虫～中齢幼虫であると推察される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 現在、本種の防除が必要である地域はないものと考えられるが、今後、常発地では幼虫密度が高まる可能性がある。8月上旬までに要防除水準（成・幼虫数10頭/株）を超えたほ場では、病害虫防除指針等を参考にして防除を行う。特に、中生品種栽培ほ場等、8月上旬までに穂ばらみ期防除を実施しないほ場では、本種の発生状況に十分注意する。

イ 8月上旬頃までに穂ばらみ期防除を実施するほ場では、殺虫・殺菌混合粉剤などを用いて、本種、いもち病、紋枯病等を同時防除する。

2 トビイロウンカ

(1) 発生状況

ア 7月第3半旬現在、予察灯への飛来は認められていない。

(2) 防除上注意すべき事項

現在、本種の防除が必要である地域はないものと考えられる。しかし、セジロウンカの飛来にトビイロウンカが混在していた可能性もあるので、今後の発生状況などに注意する。特に、常発地および9月末以降に収穫予定のほ場（中生品種等）では注意が必要である。